

# 日本の将来を描写する北海道津別町 若い世代が地域を解析する

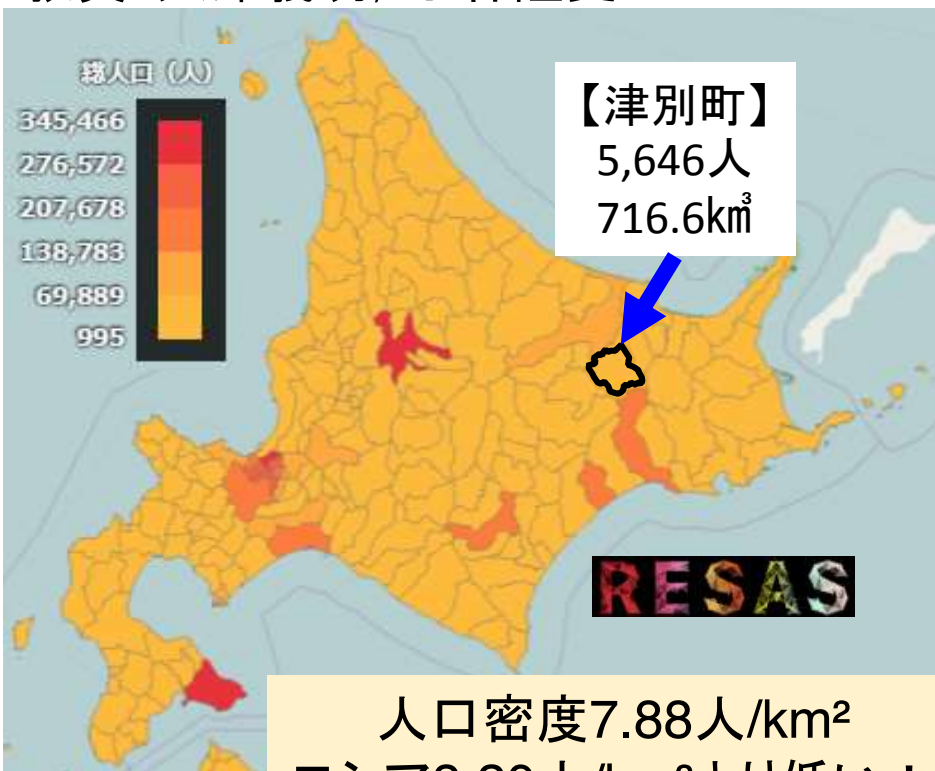
筑波大学ラグビー一部  
合宿縁の地



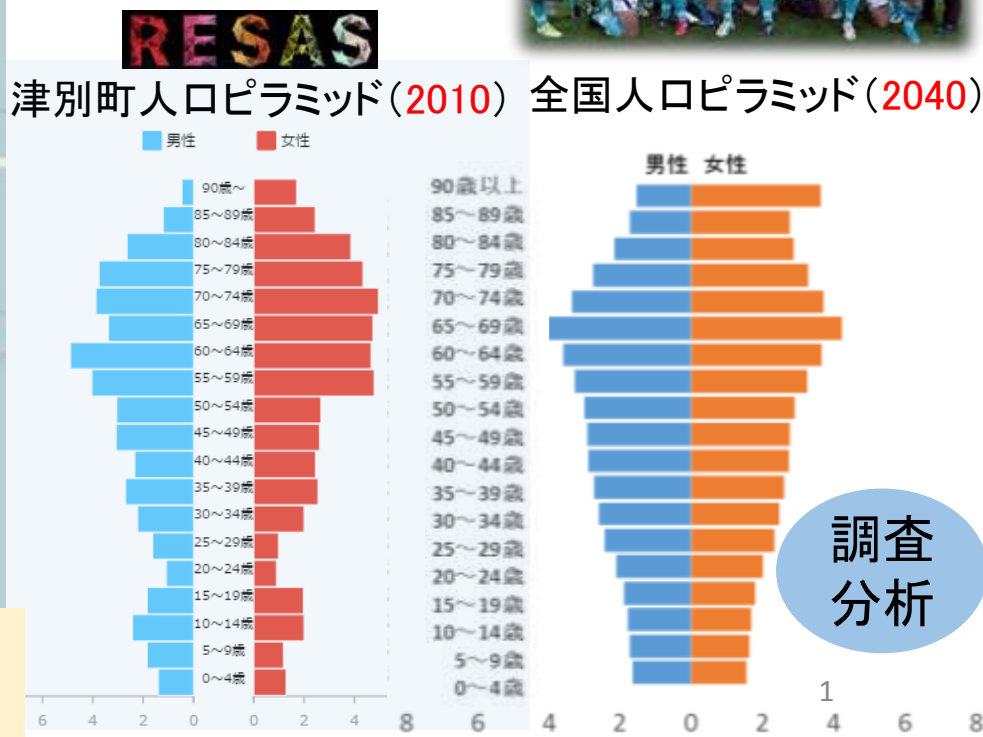
筑波大学 社会工学域 都市計測実験室

大学院生：竹屋裕樹(津別24泊) 湊信乃介(津別27泊)

教員：大澤義明, 小林隆史



人口密度7.88人/km<sup>2</sup>  
ロシア8.20人/km<sup>2</sup>より低い！



# RESASの位置づけ



住民ワークショップ(2015年6月)



高大連携ワークショップ(2015年8月)



俯瞰

オリジナル  
調査分析

若い世代による  
ワークショップ

足下

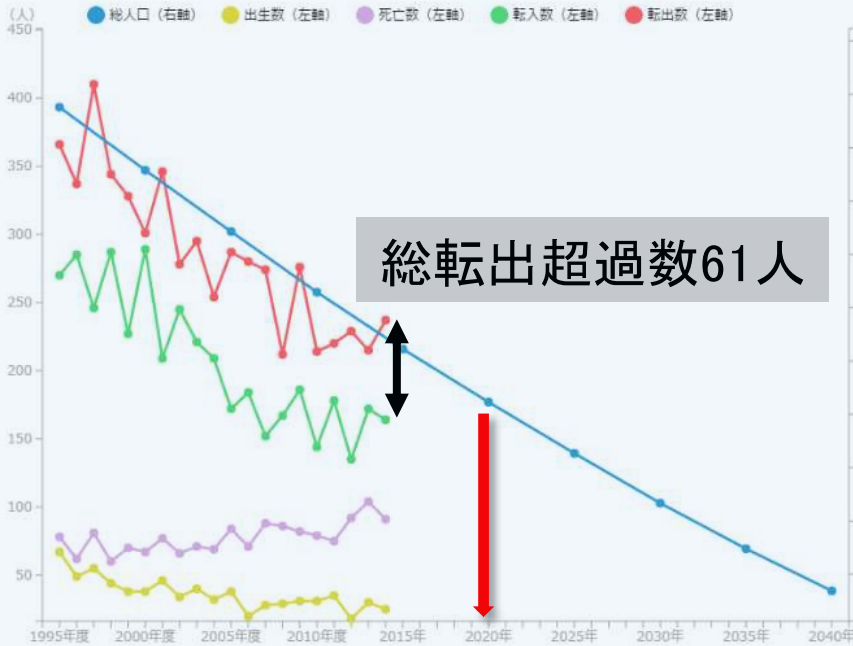
2040年日本の  
政策の糸口にも！



# 課題「若者の人口流出」



出生数・死亡数 / 転入数・転出数

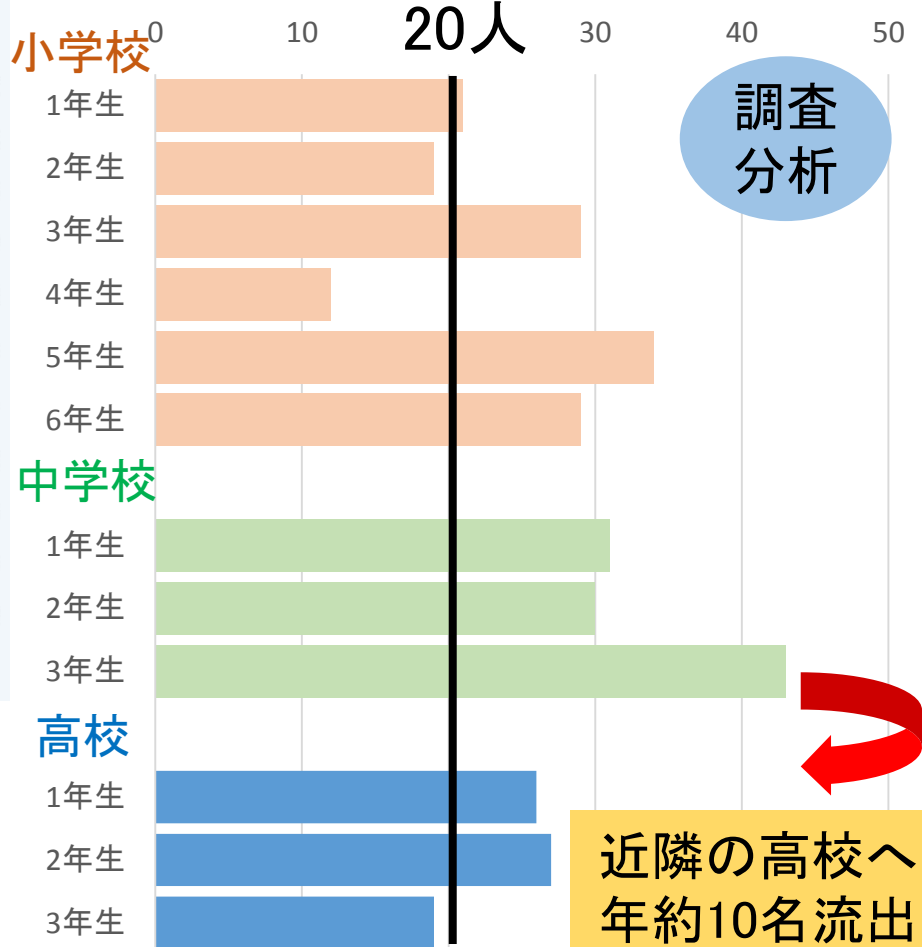


20歳代未満の総転出超過数33人  
⇒全体の**56%**！

**20歳代未満の転出**  
が高い割合を占める

## 津別町小中高 生徒数(2014年度)

※データ提供:津別町役場



入学者数が20名未満が  
2年続くと**廃校**となる



# 課題「農業従業者の減少」

## 津別町の農業・林業

特化係数（付加価値額） x 特化係数（労働生産性）

2012年

指定地域：北海道津別町

RESAS

特化係数（労働生産性）

2  
1.75  
1.5

農業、林業 > 農業

特化係数（付加価値額）：21.30

特化係数（労働生産性）：1.52

農業、林業 > 林業

特化係数（付加価値額）：78.68

特化係数（労働生産性）：2.07

20 30 40 50 60 70 特化係数（付加価値額）



## 従業者数（事業所単位）

産業：農業、林業 > 農業

2009年

2012年

RESAS

(人)

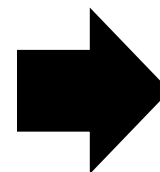
200  
180  
160  
140  
120  
100  
80  
60  
40  
20  
0

179

138

北海道  
津別町

林業・農業共に付加価値額は全国比較で**高水準**



農業の従事者は**減少**している

# テーマA: 地域の人口減少・少子高齢化を**教育**で解決する！

## ●提案●

# 小中高一貫校の創設 ～アクティブ・ラーニングの場～

WS

食育



## 3つの“C”

通し学年

夢を見つけるChance

1・2・  
3・4 職場見学

夢にふれるChallenge

5・6・  
7・8 体験学習

夢をかなえるChange

9・10・  
11・12 研究開発・発表

シゲチャンランド



NEW DESIGN  
SWING  
山上木工



地場産業

丸玉産業



NONOSOTO-Torium  
016/8/23 11:00-15:00  
本会場内 河本農場



# まち全体で次世代を育成

# 課題「まちが暗い」

調査  
分析

照度計  
(10万円)



まちあるき



0.15



★ 0.80

11.13

0.07



0.08

0.07

★ 0.10

5.76

★ 2.00

8.08

★ 0.04

★ 0.05

★ 3.60

★ 1.41

★ 0.40

★ 0.92

★ 2.00

★ 2.46

★ 0.43

町役場

★ 0.42

★ 2.46

★ 0.22

小学校

★ 2.89

中学校

場所の分類

推奨照度[lx]

明るい

7.5~

中程度

3~5

暗い

~3

## 歩行者のための路面推奨照度

(照明学会の技術基準)

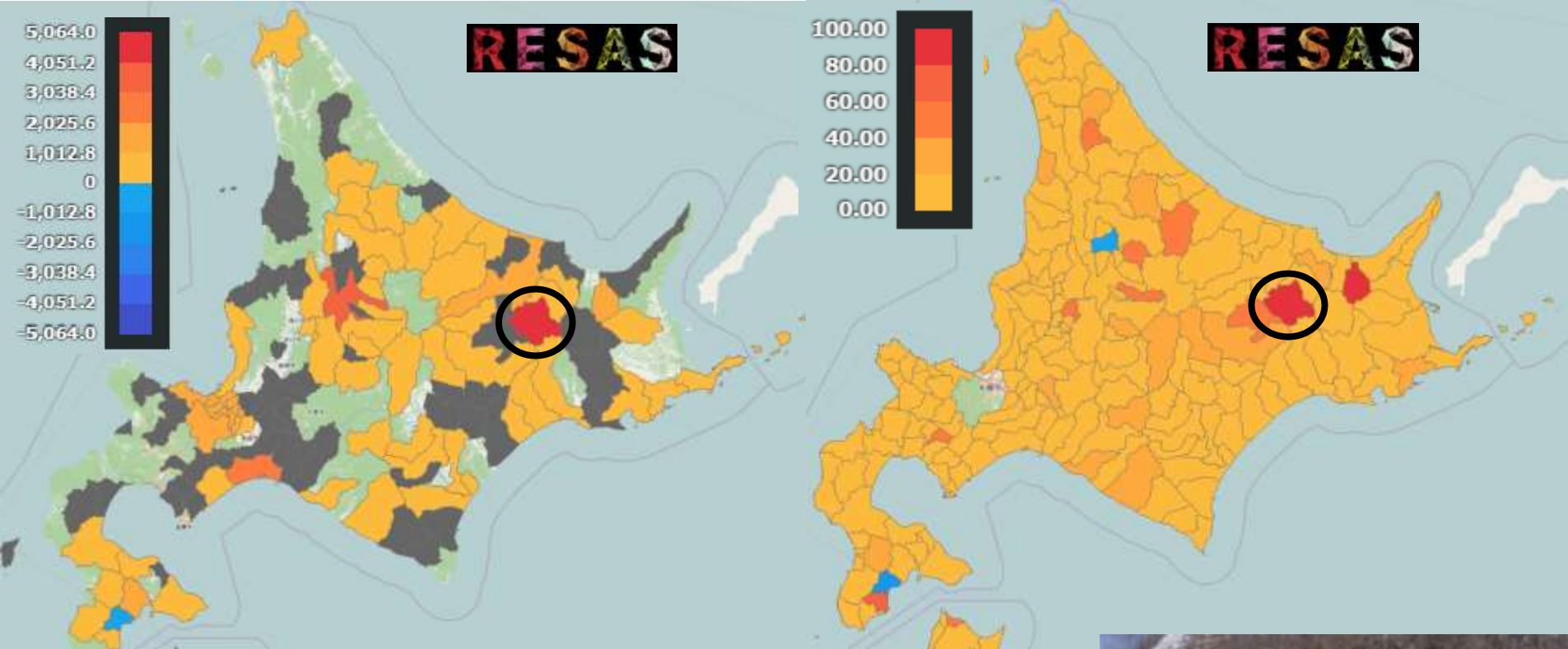


# RESASによる木材産業の道内比較

木材・木製品付加価値額

2012年

木材・木製品特化係数



どちらも道内トップ

➡ 最大の強みは木材産業



# テーマC: 地域経済を木材産業で元気にする!



## ● 提案 ● WS

① バイオマス企業誘致  
～雇用の創出～

② バイオマス発電で照明  
～再生エネルギー先進地～



### 企業側のメリット

- ・地震が少なく安全
- ・女満別空港が車で1時間以内の距離

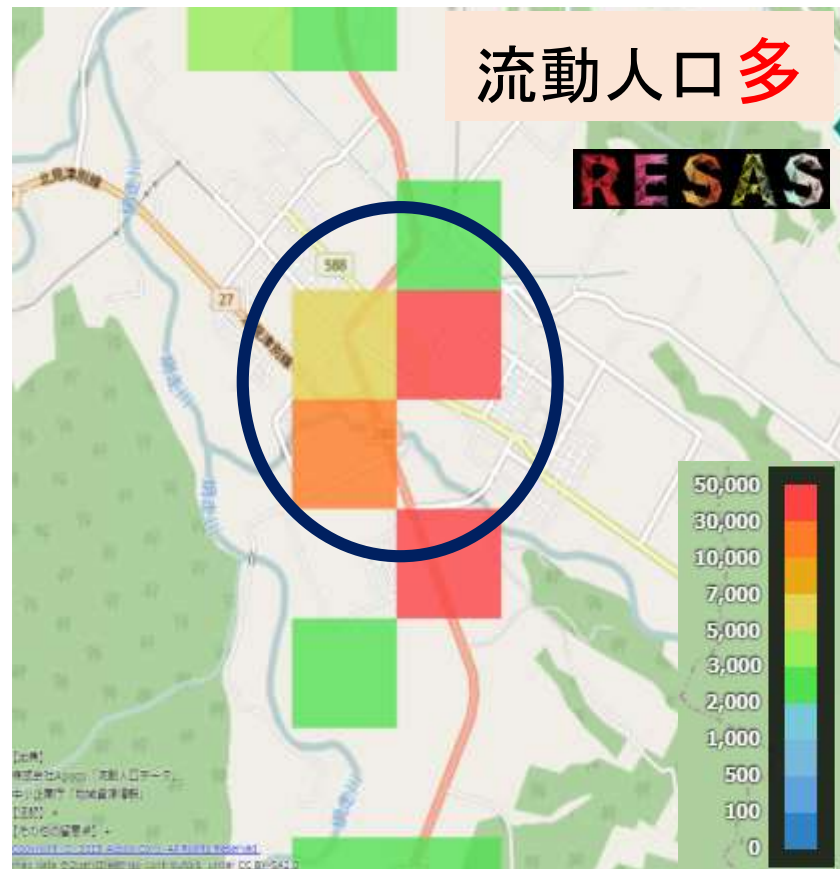
### 町側のメリット

- ・明るい道、まち
- ・エネルギーの地産地消
- ・イメージアップ

木材を知り, 楽しみ, 敬う  
ことで持続可能とする



# 課題「空き家が多い」



調査済  
要注意  
危険

電子アプリによる  
空き家の見える化

平日昼流動人口7000人以上  
津別町人口5600人により多い

大規模かつ良好なストックが活かされていない

# 津別町民への飲食店需要調査

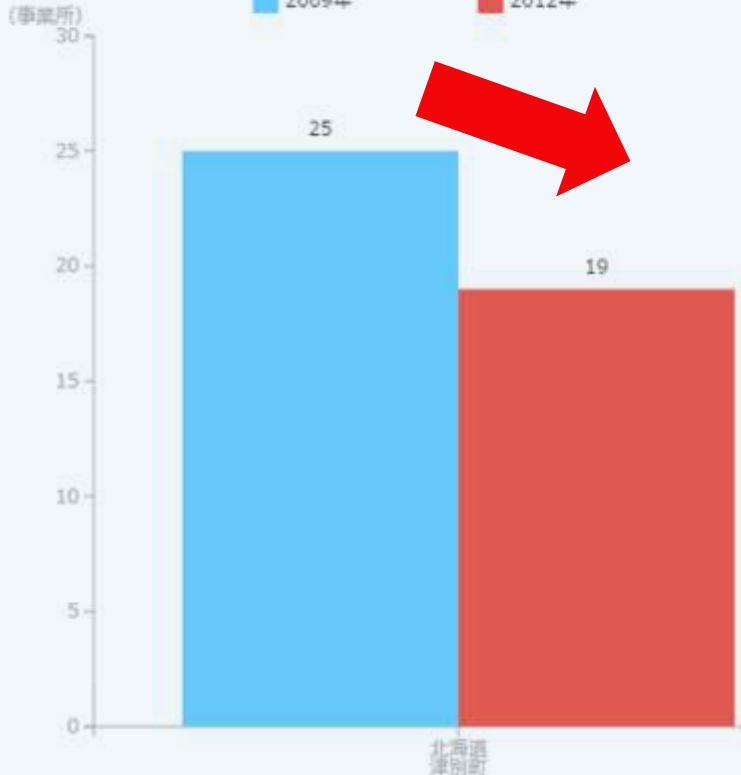
供給小

事業所数



産業：宿泊業、飲食サービス業 > 飲食店

2009年 2012年

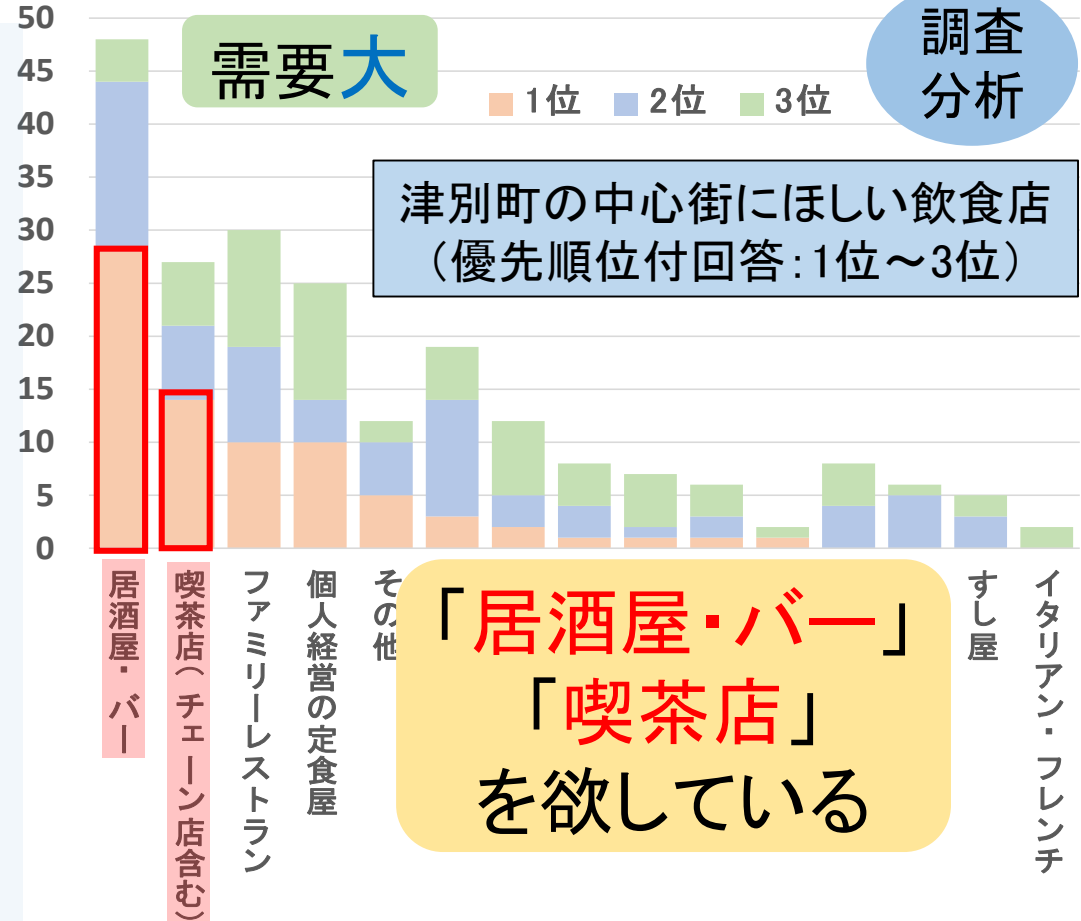


飲食店数  
減

需要大

1位 2位 3位

調査  
分析



津別町の中心街にほしい飲食店  
(優先順位付回答:1位~3位)

「居酒屋・バー」  
「喫茶店」  
を欲している

■ 筑波大アンケート調査  
■ 実施期間:2015年8月中旬  
■ 有効回答数:76

# テーマB: 地域への観光客, まちの賑わいを**空き家再生**で増やす!

● **提案** ● **WS**  
空き家再生による  
コミュニティづくり

スポーツ合宿所  
～泥まみれな姿と青春の汗

視覚

高校生のシェアハウス下宿  
～自由闊達な声

居酒屋・バー  
～住民が欲する交流

聴覚



触覚

味覚

嗅覚



地産地消カフェ  
～新鮮な地元野菜

手作りリフォーム  
～安らぐ木の香り



住民の五感を刺激することで  
まちづくりの機運を高める



## 津別町創生提案

### 人材育成

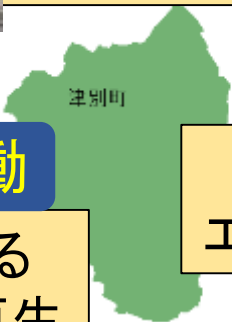
小中高一貫校  
の創設

### 地球環境

バイオマス  
エネルギーの導入

### 町民協働

連携による  
空き家の再生



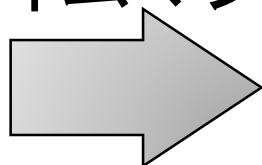
## 地方創生スキーム

日本共通の  
分析ツール

地域固有の  
調査分析

若い世代  
の意志

☆タイムマシン☆



2040年の日本の  
まちづくり政策に道筋をつける